

議案の質疑討論



大山診療所の存続と固定医の配置を求める請願

質疑

生き残り策



大山診療所

【吉原議員】
 予防医療など生き残り策は議論されたか。難しい問題なので継続審査とすべきではないか。

【岩井教育民生常任委員長】
 そこまで具体的な議論はしていないが、多数の地元住民や議員の請願なので採決することとした。

固定医

【野口昌議員】
 固定医がなぜ見つからないのか議論はしたか。

【岩井教育民生常任委員長】
 議論はしていない。難しい問題で結論は出していない。

収支

【西尾議員】
 仮に固定医が見つかったも収支は苦しいと思うが。

【岩井教育民生常任委員長】
 今は努力の最中であり、前向きに採択すべきという意見が多数であった。

診療所収支見込み (平成27年度当初予算)

診療所	収入 (診療報酬)	支出 (施設・医業費)
名和	7236万円	7049万円
大山	3324万円	6235万円
大山口	1億5300万円	1億3558万円

討論

【賛成…西山議員】
 まずは住民の意志を尊重しなければならない。そして行政と住民と医療機関で議論して、よりよくしていくべきだ。

【賛成…大森議員】
 今、存続の是非を決めるときではない。大山地区の地域医療の拠点として存続の努力をすべきだ。住民として利用率の向上に協力したい。住民の福祉を維持する行政に期待したい。

【反対…加藤議員】
 固定医の確保など、課題を解決するための議論がされていない。予算を議決する議会として、感情論のみで採択するのは無責任だ。

【反対…近藤議員】
 今後の収支見通しが議論されていない。5年後には10億円近くの地方交付税が減額されることが予想される。福祉予算も見直しが必要ではないか。

動議

【発議…近藤議員】
 大山診療所の来院者数、診療収入が年々減少しているなか、今後の経営見通しをまったく議論しないまま、議会として、診療所の存続と固定医の配置を執行部に求めることは無責任である。

健康・医療・介護と財政に関する調査特別委員会に再付託し、さらに検討することを求める。

動議の採決結果は賛成7、反対8で否決。請願の採決結果は6ページを参照。